

情報配信アプリで 手軽に情報を伝える

01 情報配信アプリとは？

02 情報配信アプリの
よくある機能

03 情報配信アプリの
おすすめ業種

04 情報配信に関する
こんな悩みありませんか？

05 情報配信アプリなら
解決できます

06 情報配信アプリの
4つの効果

07 DX化を目指す企業が
直面する7つの経営課題

08 はっかぜの実施する
課題解決のアプローチ

09 はっかぜが出来る
5つのこと

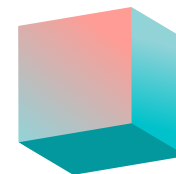
10 はっかぜがもたらす
5つの結果

11 アプリ開発の手順

12 情報配信アプリの
開発費用

13 情報配信アプリの
開発期間

14 はっかぜへの
お問い合わせはこちら

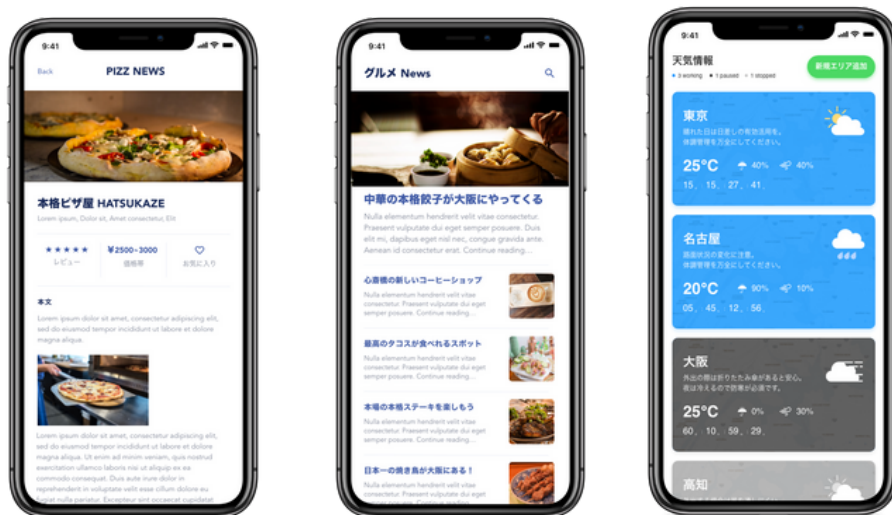


情報配信アプリって どんなアプリ？

世の中には多種多様な情報配信サービスがありますが、中でもよく使われるのがアプリです。場所や時間を選ばずタップ一つで情報収集ができるアプリは、新聞やWebサイトよりも利便性が高く利用者が多いです。

01 情報配信アプリとは？

ユーザーに伝えたい情報を手軽に配信するために、プッシュ通知やコンテンツ管理、電子データ配布などが行えるアプリです。利用状況やユーザ属性などを分析することで配信する情報を改善していくことも可能です。



02 情報配信アプリのよくある機能

- SNS連携
- いいね機能
- コメント機能
- 情報閲覧機能
- お知らせ
- プッシュ通知
- お気に入り機能
- レcommend機能

03 情報配信アプリのおすすめ業種

- 出版
- マスコミ
- 人材系
- 旅行
- 投資
- 仮想通貨
- 学習
- エンタメ

情報配信に関する 「悩み」と「解決方法」

情報配信アプリは、自社コンテンツを持っている企業に向いているアプリです。「伝えたいもの」が決まっている場合は、すぐにでもアプリ開発を進めることができます。

04

情報配信に関する こんな悩みありませんか？

- 01 Webサイトを運用しているがリピーターがない
- 02 届けたい情報が届かない
- 03 ファンの育成に失敗している
- 04 情報を更新しても誰も見てくれない
- 05 ユーザーの行動や嗜好を分析できていない

05

情報配信アプリなら 解決できます

- 01 アプリでWebサイトを表示し、アプリ側でリピーター獲得を目指すことができます
- 02 プッシュ通知などを使ってユーザーごとにダイレクトに情報を届けることができます
- 03 アプリ限定の特典や機能を提供することでファンの育成が見込めます
- 04 プッシュ通知を使って更新した記事をすぐにユーザーに知らせることができます
- 05 詳細な行動を記録しユーザーの特性や嗜好を分析することができます



情報配信アプリで 何が手に入るのか？

情報配信アプリによって、ユーザーの獲得や育成、メディアの認知度向上、さらに新たな収入源を作り出すことができます。情報配信アプリは、企業の売上増加やブランディングの力強い味方になるでしょう。

06 情報配信アプリの4つの効果



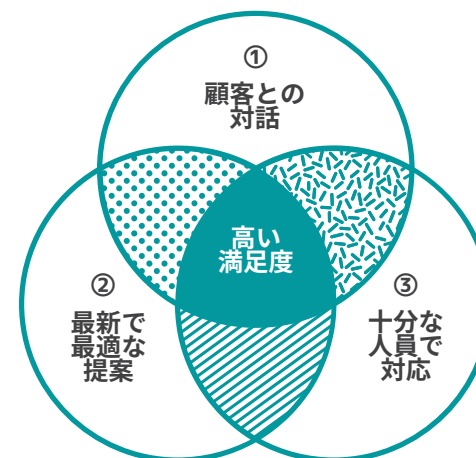
よくあるアプリ開発の「課題」と「解決策」

戦略的にシステムやIT人材を投資してこなかった企業にはいくつかの課題が待ち受けています。それらの課題に対するはつかけ流のアプローチについてご紹介します。

07 DX化を目指す企業が直面する7つの経営課題

- 01 「人手不足でデジタルの担当者を用意できない」
- 02 「データ活用を目指しているが具体的な方法がわからない」
- 03 「パッケージ型のアプリでは業務に対応できない」
- 04 「顧客との接点が実店舗にしかなくデジタル上での接点がない」
- 05 「ペーパーレスや脱ハンコが遅れており生産性の低さが問題になっている」
- 06 「既存の古いシステムが足枷となって他のシステムが導入できない」
- 07 「デジタルに関する情報が不足しており経営戦略や方針が決められない」

08 はつかけの実施する課題解決のアプローチ



- 01 企画段階から開発者が参加し、顧客との対話を重ねて、課題解決に向けた明確な方針を打ち出します。
- 02 幅広い業種業態のアプリ・システム開発を行ってきたノウハウと技術を活かし最適な提案を行います。
- 03 海外にある複数社のパートナー企業と協力して、技術者の作業単価を減らすとともに十分な人員でアプリ開発を行います。

はつかぜの 「出来ること」と「結果」

はつかぜでは、顧客の立場に寄り添い「成果が出る」を第一に考えてアプリ開発に取り組んでいます。どんな業種、業態にも対応可能なオーダーメイドで成果重視のアプリ開発がはつかぜの特徴です。

09 はつかぜが出来る 5つのこと

- 01 豊富な機能から効果があるものを選び出し、最新で最適な機能を提案して実装いたします。
- 02 保守や改修を前提として状況変化に対応しやすいアプリ開発を行います。
- 03 古いシステムの顧客・商品データ等を最新アプリに移行して、継続したサービス利用を可能にします。
- 04 アプリ利用者の行動データ等を蓄積して分析することができる仕組みを導入します。
- 05 社内状況や事業内容、求めるアプリなどを丁寧にヒアリングして現状分析を行い、現状にマッチするアプリ開発を行います。

10 はつかぜがもたらす 5つの結果

- 01 選び抜かれた最適な機能により初期費用を抑え、選び抜かれた最新の機能によりユーザーに新たな顧客体験を与えます。
- 02 技術的負債を取り除き、保守や改修による継続的なシステム維持費を抑えます。
- 03 旧データを移行した継続的なサービスにより利便性が高く、今まで通り使えるアプリを実現します。
- 04 データを活用した合理的な意思決定が可能になることで、スピード感のある経営をサポートします。
- 05 業務効率化や働き方改革、ペーパーレス化、脱はんこを実現させ、生産性や効率を高めます。



情報配信アプリの 「開発手順」と「情報」

はつかぜでは、顧客満足度の高いアプリ開発を目指しています。
業務的な外注ではなく、1つのチームとしてプロジェクトを進めて
成果が出るアプリの導入を実現します。

11 アプリ開発の手順

①ヒアリング

顧客が抱えている問題や課題をお伺いし、開発したいアプリのイメージを掴んでいきます

②提案

課題解決に向けて最適な技術や手法を提案します

③要件定義

顧客が求めている要件を整理して、実現するために必要な機能・性能といったシステムの仕様を明確に決めます

④打ち合わせ

画面レイアウトや機能一覧などをもとに最終的な調整を行います

⑤基本設計

要件定義を基に、システムの基本となる設計を行います。操作方法・操作画面・出力方法など

⑥詳細設計

基本設計を基に、システム内部の詳細な設計を行います。機能・動作・構造など

⑦実装

アプリ開発を行います

⑧導入

アプリをAppStoreやGooglePlayに公開する手続きを行います

12 情報配信アプリ開発の費用

初期費用

300~500万円ほど

保守費用/月

10~20万円ほど

上記の金額は、当社の実績から算出した平均的な開発費用です。

開発するアプリによって、費用は変動します。
また、上記の費用に加えてサーバー費用が発生するケースも存在します。

13 情報配信アプリ開発の期間

3~6ヶ月ほど

アプリの種類によって、開発期間は異なります。

はつかぜへの お問い合わせ

最後までお読みいただきありがとうございました。
はつかぜでは、様々な業種、業態のアプリ開発の実績があります。
アプリ開発のご要望がございましたらお気軽にお問い合わせください。

14 はつかぜへの お問い合わせはこちら

会社名

はつかぜ株式会社

住所

大阪府中央区城見2-1-61
ツイン21MIDタワー37F

電話番号

06-6940-2866

FAX

06-6940-2867

問合せページ

<https://www.hatsukaze.co.jp/inquire/>

問い合わせページ
(QRコード読込)

